

心は知らずの

心は知らずの

GENSHIN
IMPACT
UNOFFICIAL
FAN BOOK

Thoma ×

Kamisato Ayato

R18

FOR ADULT ONLY



- ♡ トーマ×神里綾人
- ♡ 同人便利アイテム「璃月のお茶」
- ♡ 男性向けエロ漫画描写(スパイス程度)
- ♡ 相思相愛

この本のトーマさんと綾人さんについて

- すでに恋仲になって長いという前提です。
- そういう行為も慣れているので開発をさねまっしているし、
本当にだめなときはちゃんとセーフワードがあります。安心だね。





37





いいものを
見つけられて
よかった

香りも気に入って
いただけた
みたいだし…

空いたものは
下げてよろしい
ですね？

他はなにか
あったかな…

これで若もすこし
リラックスできると
いいんだけど

若？





何でも
ないよ

16/12/2020

あれから
幾日か経ち

件のお茶も
随分と
飲み慣れた



すみません
遅くなって
しまつて

お茶を
お持ち
しました



うん、

ありがとう
トーマ

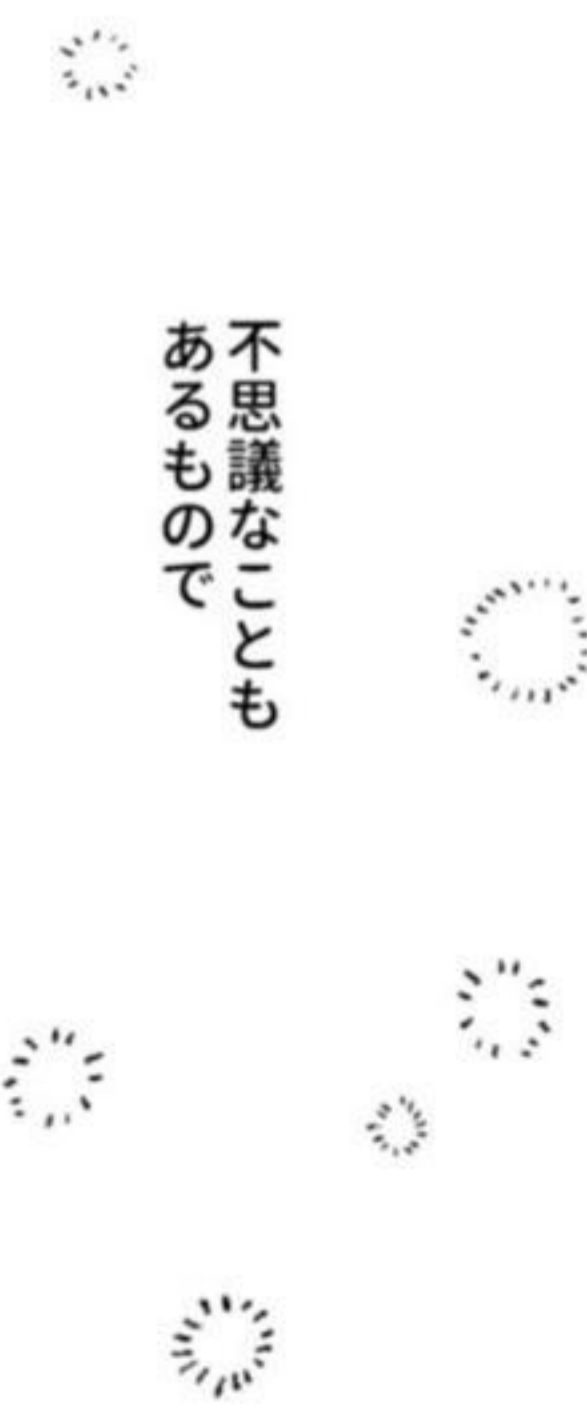
すこし
休憩に
しようかな

何か
甘いものを

勿論…と
言いたい所ですが
もうすぐ
夕餉ですので

……代わりに
食後に果物でも
剥きますから

不思議なことも
あるもので





飲んだものには
淹れたもの
考えていることが

ごく短時間だけ
伝わるらしい

誰が淹れたものでも
変わらず想いが
聞こえるようだった



お茶の効能だと
しても
こんな作用が
あるものは
聞いた事がないけれど...

璃月には我々では
理解し得ない
仙術なども
あると聞くし

驚くような
ことでも
ないのかも
しれない

このお茶は
淹れたもの...
聞こえるよ...

アハハ...



どうやら
このお茶は

そして
誰からもまだ
この作用について
聞いていない



気づいて
いないのか

それとも
教えるのを
躊躇っているのか

いずれに
せよ

いつかは
明らかにしないと
いけないのだけど…



それよりも、

若



きみこそ
随分薄着の
ようだけど？

オレは
いままで
厨で火の前に
いたので…

でも
この部屋は
違うでしょう



近頃はもう
冷えるの
ですから



ふふ

?

準備ができれば
また呼びに
来ますね

ああ
わかったよ

こんなものが
なくとも



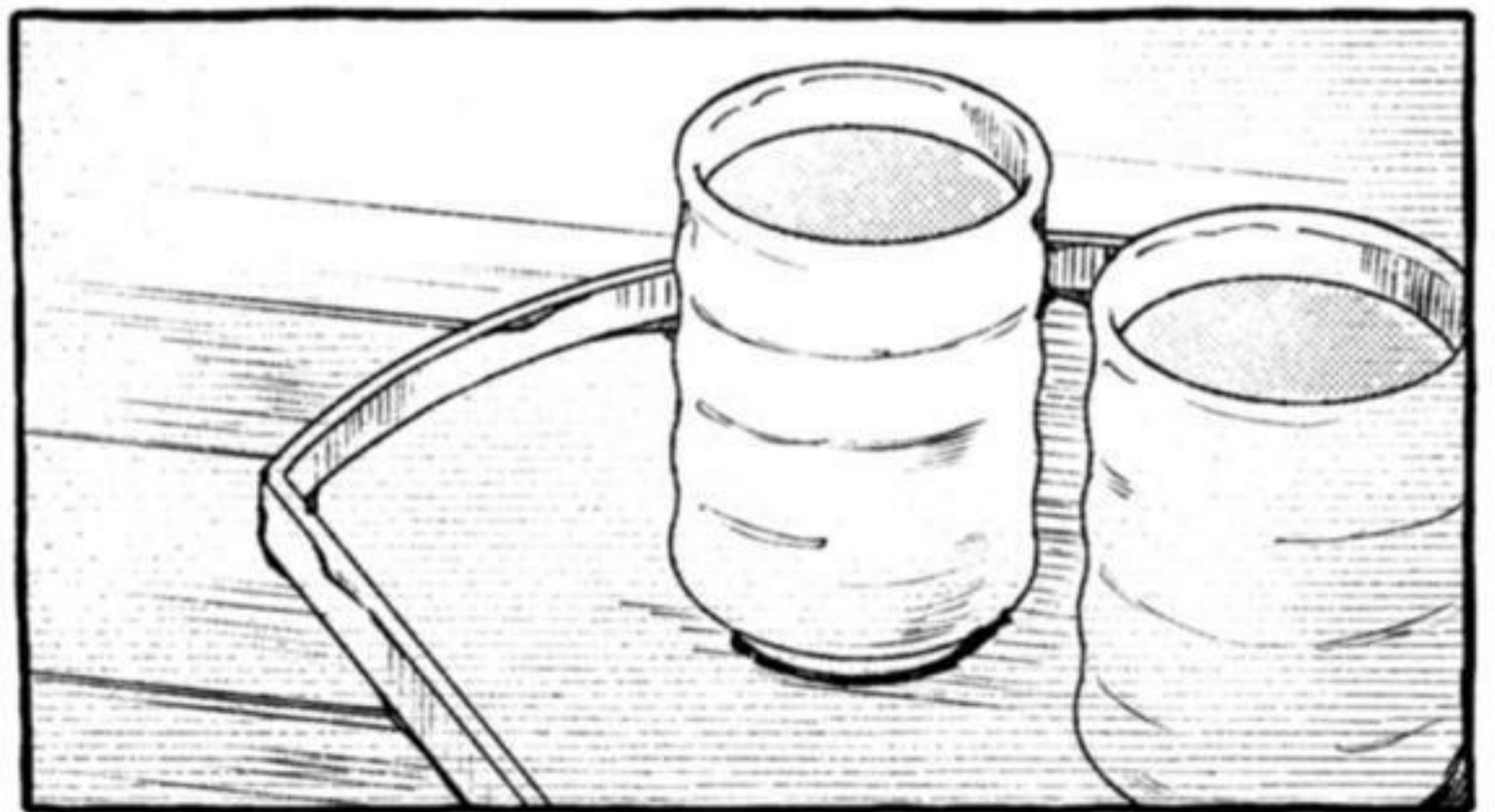
どうしてこの人は
大事にされて
くれないかなあ



わかって
いるのだ
けれど



想われて
いるのは





こうして三人で
お食事を
いただくのは
久しぶりですね

最近はあまり
綾華と時間が
合わなかったからね

こうして
顔を合わせて
ゆっくり：
というのは
久しぶりだ



ええ、
本当に
お兄様も
お元気そうで
安心しました

ですが、お兄様は
もっと確り
休息をとられる
べきです！

ああ、
本当にね

まあお嬢
その辺で

若も程々に
なさって
くださいよ

もっと早く
帰って来て
いただけるように
なるとより
良いのですが…

これでも
努力はして
いるんだよ



トーマからも
もっと言って
ください

おや
トーマは
私の味方
だよねえ？

オレは
おふたりの
味方です！





トーマのお茶を
いただいたら
すこし落ち着き
ました

すみません
お母様

それは
光栄だ

おついでよかったです

はい、
これも
どうぞ

ちあ
ありがとう

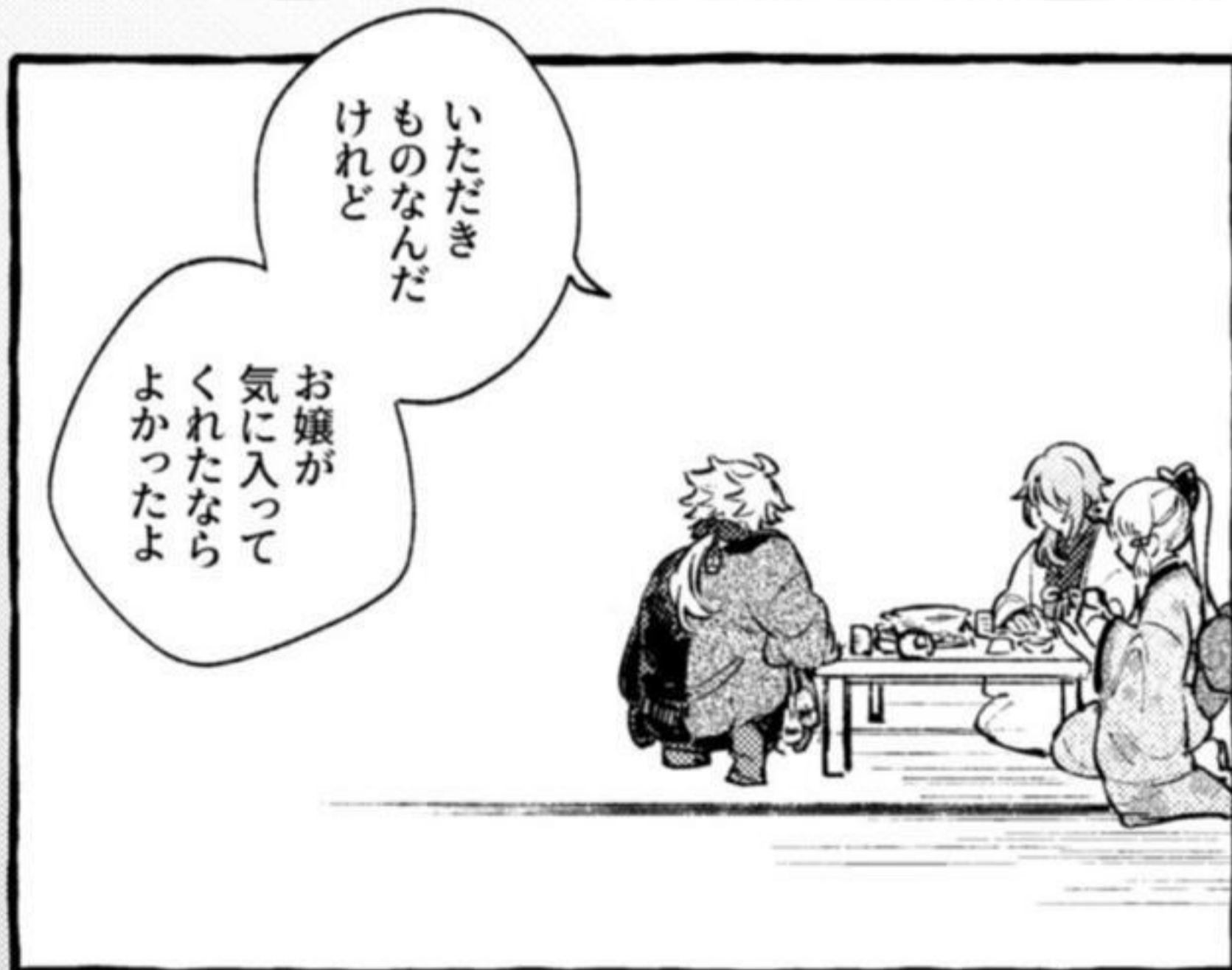


特に近頃よく
いただく
こちらが
少し甘くて…

ああ

最近
遅いときも
多かったですから

お母様の
お言葉



いただき
ものなんだ
けれど

お嬢が
気に入って
くれたなら
よかったですよ



ふふ
ほんとうに
美味しいです



失礼します
……若、なにか
ありましたか？
こんな遅くに
珍しいですね



……
そう言う
割には



いやまあ、そりゃ
期待しますよ……



え?!
いや、
これはその……



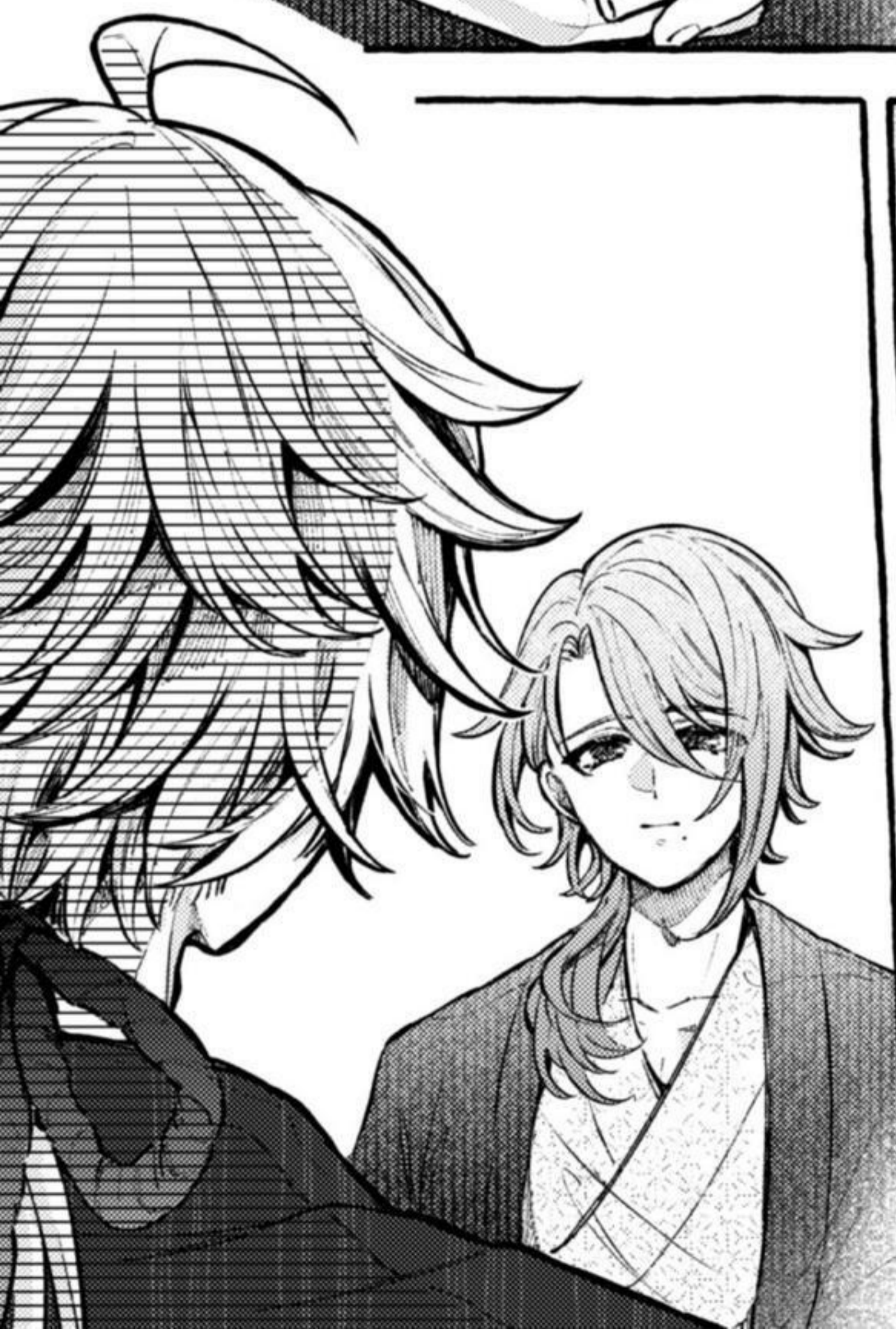
しっかり
湯浴みも
済ませた
ようだけど
期待させて
しまったかな？



いつも通りに
見える



それに

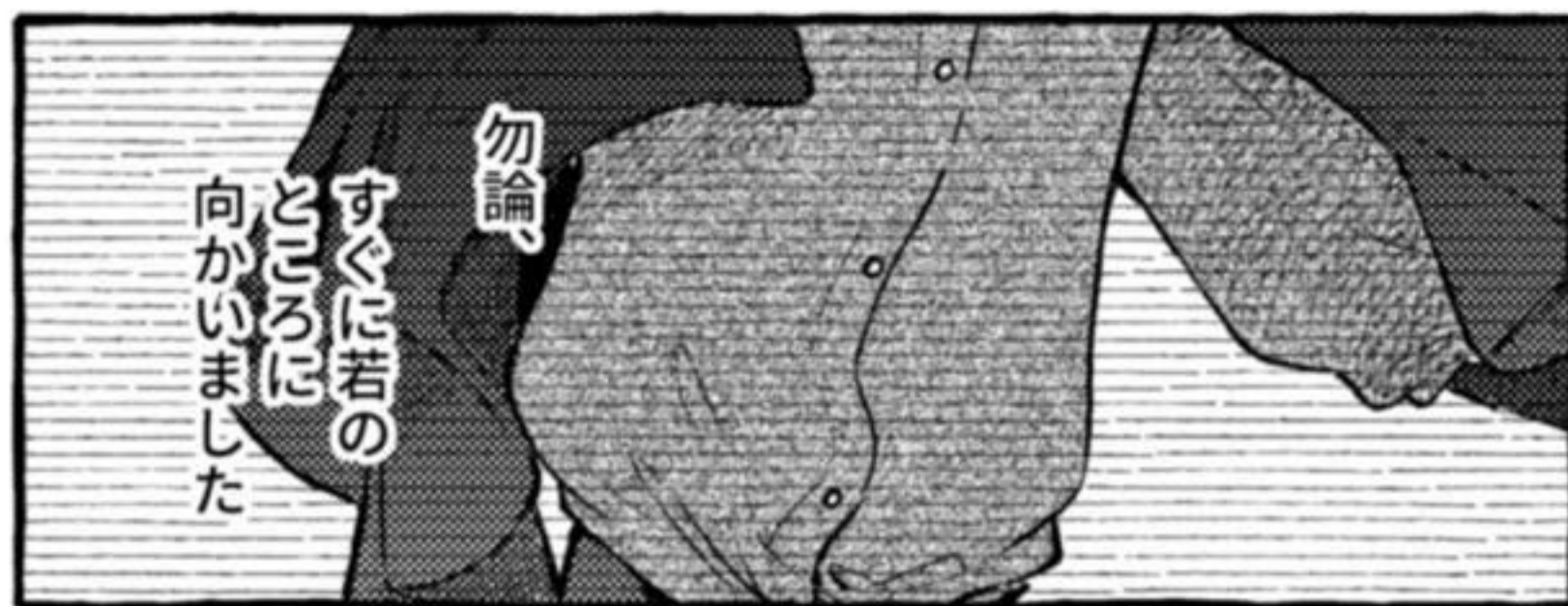




最初は
本当に知らずに
手に入れたもので

これはいい
買い物をしたと
思っていたの
ですが…





貴方が
気づかない
のに
訳がない



試されて
いるような
心地でした

なの
にひどく
のぼせて
もいた







前から
思っては
いたんです

この胸のうちを
貴方にひらいて
見せてやりたいと

オレの想いを
余さず伝えることが
出来たならと

それが
できたら、

どんなにか…

ソコ



あつい

これが

彼の命の
温度で

私を想う
あつさだと



私は

若

どのような
処罰でも

とっくに
知って
いるのに



—
君は



君は
知らないのか



私がどれだけ
君を想っているかも
知らないのに



そんなおとこが、
どれだけ、

……なにを



どれだけ
君を、

若



私が
どれだけ
きみに
助けられて
いるか

ほんとうに
きみは
知らないのかい

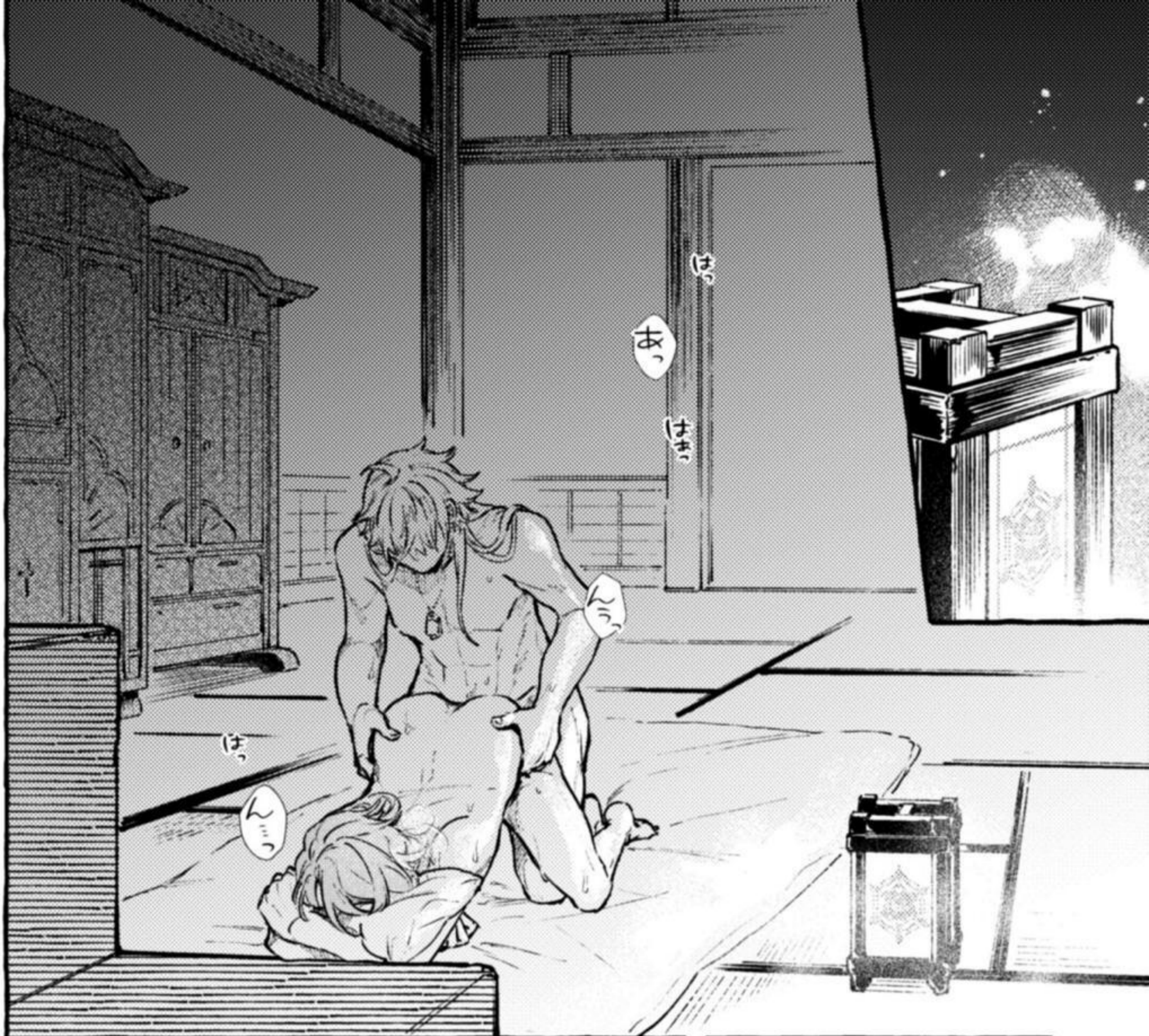


つけあがる
犬もいるん
ですよ



……
あまり
甘やか
さないで

ばかだね
いいと
言っているのが
わからないわけじゃ
ないだろう

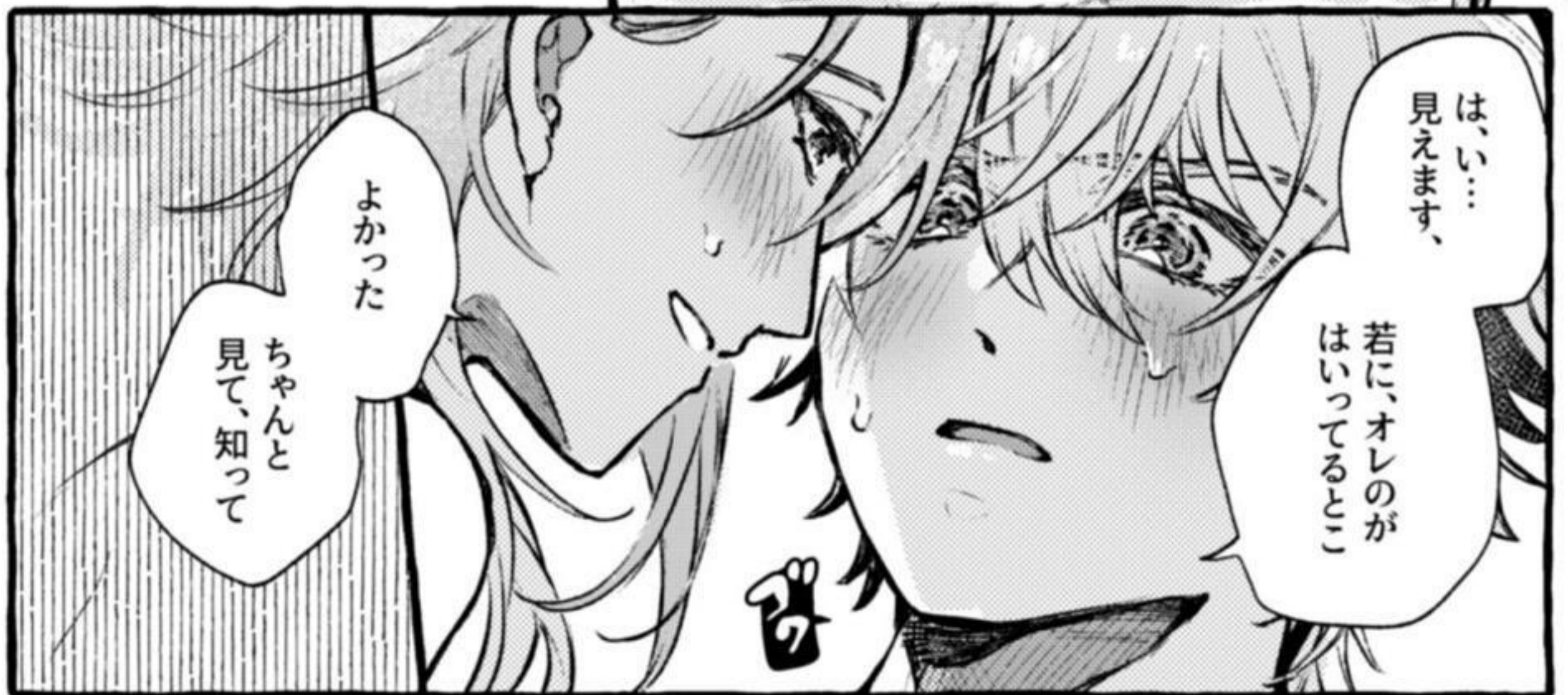


今日の
若のなか、
いつもより

やわい
ような...

...なんか







は、
……

あ……

ふふ、
おおきく
なった……
♡



きみが
誰のうちに
喰まれているのか
おぼえて



どうも
どうも
……
トーマが
言い出したん
だろう？

？



もし
若
が
こ
う
し
た
ん
で
す
よ
今
の
は
……

ま
や
だ
わ
か
っ
て
る
か
ら
、
あ
、
急
に
し
な
い
で
……

ど
う
し
た
ん
で
す
か
今
日
は
一
体



私に

見せて
やりたいほど

想像するのはいいけど
君の胸はリアルだ

胸のうちを
ひらいて

どれだけ
想って
いるのか、を

不安で、
さみじいと
きみが言うから

私に、

思いの丈が
伝わって
いないよう
だから

教えこんで
理解させて
やりたいの
だろう？



きみのために
出来ることも
多くない

それでも



社奉行当主
『私』がきみに
伝えられる
ことも



今きみの
目の前に
いるのは

ただの
おとこで

何を隠す
こともなく
ただ、あいされて
いるのだと



可愛いこいびとの
ためなら恥くらい
捨てようと思ってね

若、



…ただ、
あいして
いると、

そのつもり
だったの
だけど

伝わっていないくて
不安にさせた
ようだから



ん…

トーマ、
おしゃべりは
もう後で
いいだろう？



もう
これじゃ
もどか
しくて…

キラキラ

足りな…っ♡

♡♡



ツ加減、
できませんからね...っ!



.....っ



勝手に、
不安になって

あまつさえ、
貴方を、っ



どうして
そんなに
やさしく
するんですか

とーま

はっ

待っ
まだ
イってう♡



オレは、
貴方を
信じきれ
なかったと
いうのに

まだ待...

あ、
奥すぎ、
すぎっ...♡

おっ♡
んっ♡
あ、あ、あ、あ、あ♡

き、み
だって

わたしが
同じことを
言えば

若、
若…っ

あっ

トーマ

や、だ
そこじゃ
ない…

こうして
埋めて
くれるの
だろうか？

ごめん
なさい

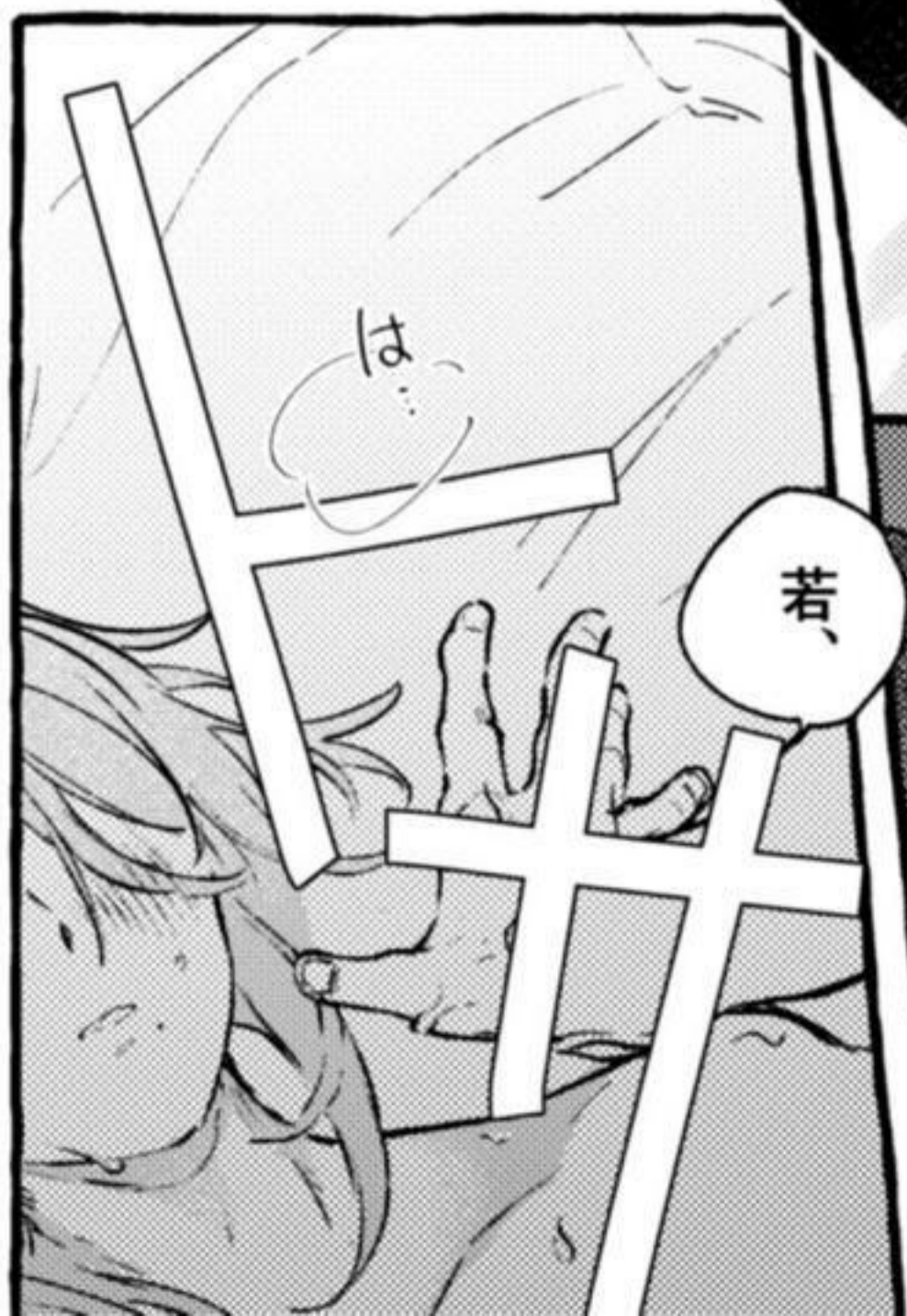
色っぽい
場所に
あるからつい

ば、か

ちゃんと
くち
吸って…っ

繋がったまま
キスするの
お好き
ですもんね











今日は

ゆるして
いただけるの
でしょうか？



オレ

前からもっと
つけてみたいと
思っていたんです



…まったく

ちゅっ♡



いつもあれだけ
つけておいて
足りないとは…

すみません

これでも
抑えては
いるんですが

別に
構わない
けれど

抑える必要
だってない
だろうに

ロキをこる
たけな

ロキをこる
たけな



そうは
言います
けどね

オレの方で
セーブ
してないと

あ

ちゅっ♡



びんびん

びんびん
びんびん

びんびん
びんびん

びんびん
びんびん

若、すぐ我慢
できなく
なるでしょう？



あっ

あ、
まもち、
とーま
もっと

ほら

これ
すま
すま
とーま
すま

とんたん
すま

あ、
ん

びんびん
びんびん

びんびん
びんびん

あ、
ん



私が
まるで…

違うんですか？
こんなに
欲しがって
くれるのに

そ、
れは



そ

んな





意地悪して
ごめんなさい

たくさん
気持ちよくなって
ください



…ハハ

あれだけで
そんなに
焦れてくれたん
ですか？



ん…
だって

かわいい、
若、
好き、
好きです…



あ
♡だめ

♡♡♡
♡♡♡♡
♡♡♡♡♡



若、
若…♡

うん、
若の好きな
の、
ぜんぶ
しましよう？

ゆるくり、
ぜんぶ
するの…

はま♡

する、
し…♡







……と
そうは
言っても
事は事だ



こいびとの
抱く不安は
ゆるすけれど

主人としては
咎めておく
べきかな



なんて

大義名分が
あるのは
気分がいいね



ほら、
勿論飲んで
くれるだろう？
トーマ

それは、
…はい
勿論
いただき
ますが…





怖いかい？



…あれは
処分した
はずですが

うん

おかげで
同じものを
手に入れるのに
今まで
かかってしまった



私の
胸のうちを
知るのは

己への想いを
目の当たりに
するのは…





もちろん

本当に
入ってます？

いや別に
左様の下味は片断でも
飲みますけれど...

ですが
その割には

特に
何の変化も...

は
た





…遅いよ

普段は
目ざとい
くせに
どうして
こういう事に
なると途端に
鈍くなるんだか



…ほら、
トーマ

聞こえて
いるん
だろう？

言えない
ことこそ
あれど
トーマ相手に
腹芸をして
何になるのだから

私はきみが
思うより
ずっと

きみが
向けるものを
理解している
つもりだよ

全く

トーマ、きみが
思うよりずっと
きみの視線は
察するに
余りあるものだ

この機に
覚えて
おくように

それに
きつと



は

いいね？

きみが
気づいて
いるよりも

ずっと
きみに心を
寄せている

はい…

言の葉に
滲ませ
ようにも

恥られる
ほどにはね



しかと
覚えて
おきます…

普通
言えなくて
すまないね

だいき
トーマ

お、
お戯れを…

赤く
なっちゃって
かわいい
すぎ

せつかく
だし

このまま
触れ合っ
てみる
かい？

したかも。